平成 31 年 3 月 26 日
中心市街地活性化基本計画評価専門委員会
都市整備部　市街地整備局　市街地整備課

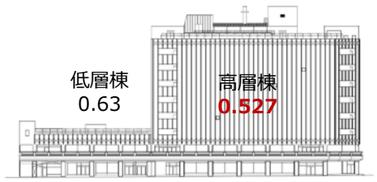
資料 3

もんぜんぷら座の在り方について　～現状と今後の進め方～

1　経過

ア）耐震化の必要性

Is 値（構造耐震指標）



［H27 年度　耐震診断結果］

	Is＜0.3	0.3≦Is＜0.6	0.6≦Is
大規模地震による倒壊・崩壊	危険性が高い	危険性がある	危険性が低い

←　耐震化必要　→

「耐震改修促進計画」
H32 年度末
耐震化率 100%
（市有施設の「特定既存耐震不適格建築物」）

イ）老朽化と耐震化の対応

長野市
補強・長寿命化
【諮問】H29.8.17
耐震化の方向性
解体・再整備

中心市街地活性化基本計画評価専門委員会
もんぜんぷら座在り方検討部会
H29.10～H30.3

【答申】H30.5.24
新田町交差点周辺まちづくり構想等「長期的課題」の検討と併行して、耐震補強と必要な防災設備改修等で「当面の課題」に対応する

市の方針

2　「当面の課題」への対応　～耐震補強改修外工事～

ア）改修内容　　構造部材補強（耐震壁、ブレース等）、使用済み重量物撤去、防火ダンパー交換、 ガスヒートポンプ空調設備交換、加湿器交換 他

※ テナント業務継続や安全管理、施工性を考慮して夜間施工

イ）スケジュール

ウ）事業費

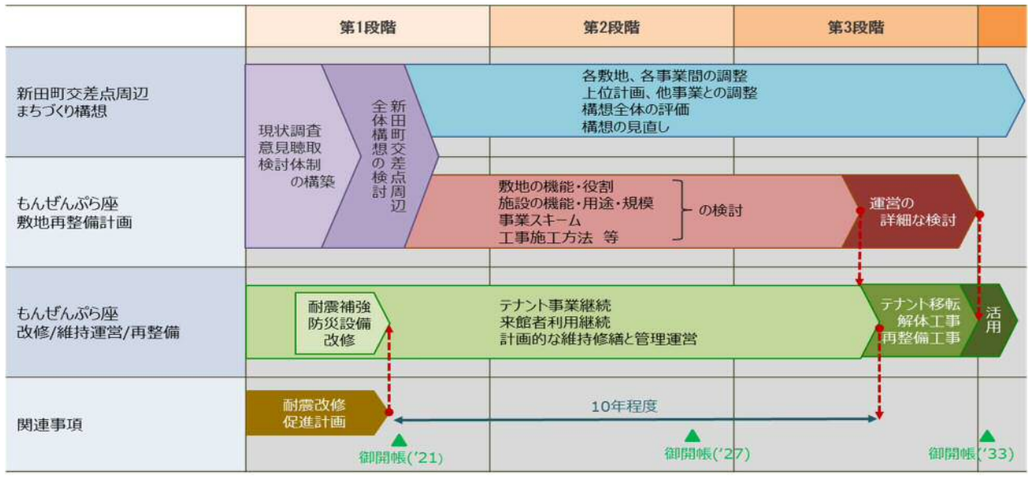
（千円）

		H30※（2018）	H31（2019）	2020	計
事 業 費 （千円）		8,640	177,815	269,331	455,786
財源	一般財源	7,640	144,915	245,731	398,286
	起　債	1,000	32,900	23,600	57,500

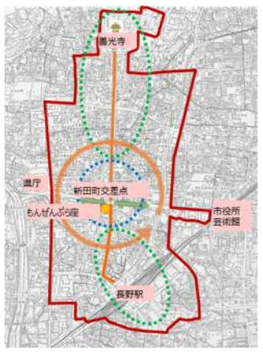
※ H30（2018）年度は契約額、2019 年度以降は予算額

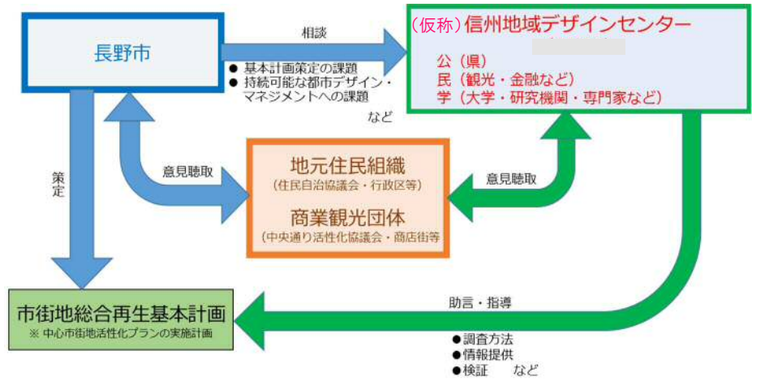
3　「長期的課題」への対応　～市街地総合再生基本計画～

ア）「新田町交差点周辺まちづくり構想」と「もんぜんぷら座敷地再整備」

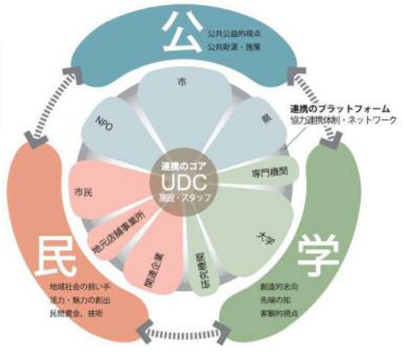


イ）市街地総合再生基本計画





ウ）（仮称）信州地域デザインセンター

公・民・学の連携により、まちづくりを牽引するアーバンデザインセンター（UDC）を参考に、課題を持つ市町村を広域的に支援する中間機能として、長野県が 2019 年度設置を予定

- 広域的な視点でまちづくりの課題の整理から計画づくりまでを市町村と協働
- 市町村と専門家をつなげ、まちづくりを支援
- 情報共有やスキルアップ研修により「まちづくり人材」を育成